

平成30年度シート

分担金・ 拠出金名	アジア・アフリカ法律諮問委員会（AALCO）分担金	種別	分担金	30年度 予算額	7,051千円	総合評価	B
拠出先 国際機関名	アジア・アフリカ法律諮問委員会（AALCO）						
国際機関等 の概要及び 成果目標	<p>（1）設立経緯等・目的：1956年設立のアジア・アフリカ法律諮問委員会（AALCO）は、アジア・アフリカ地域において唯一の国際法に関する政府間諮問機関。国際法の分野におけるアジア・アフリカ諸国の意見を収斂し、国際社会に反映させる役割を担っており、かかる活動を通じて国際法の漸進的發展に貢献することを目的としている。また、国際法上の諸問題に関するセミナー等の開催を通じて加盟国政府機関の実務家の能力構築を行う役目も果たしている。事務局はインドに所在し、加盟国数は47か国。</p> <p>（2）拠出の概要及び成果目標：本件拠出は、AALCOの運営及び年次総会を始めとする活動のために充てられる。こうしたAALCOの活動を支援することにより、日本の立場に係る理解促進に努め、アジア・アフリカ地域における法の支配の促進や国際法の漸進的發展に貢献することを目標とする。</p>						
1 専門分野 における活 動の成果・影 響力	<ul style="list-style-type: none"> ・AALCOは、年次総会で加盟国から付託される法律問題を審議し、かつ適当と認められる勧告を加盟国政府に対して行うほか、国際法に関連するテーマについて各種セミナーやワークショップの開催、出版、国連第6委員会や国連国際法委員会（ILC）への報告等を行っている。 ・2016年度には、AALCOが主催又は共催する会合等が4件（総会1件、セミナー3件）実施され、出版物が4件発行された。セミナーは、紛争の平和的解決、サイバー空間における国際法等、加盟国の関心が高いテーマについて開催されたほか、出版物は、サイバー空間における国際法、パレスチナ問題の法的側面等に関するものが発行された。 ・AALCOは、国際法の分野に関連する取組をしている他の国際機関や学術機関等と協力覚書を締結するなどして協力を行っており、こうした覚書を締結している協力機関は24に上る。限られた資源で各種セミナー等を実施するに当たって、これら機関との共催・協力を積極的に行っている。 ・日本は、年間通じて定期的開催されるリエゾンオフィサー会合及び年次総会での審議を通じて、AALCOの活動に対する提案等を行ってきたほか、AALCO事務局との間で直接の意見交換や情報共有を随時行い、AALCOの活動に日本の考えが反映されるよう努めている。 						
2 組織・財 政マネジメ ント	<ul style="list-style-type: none"> ・外部監査 対象年度：2016年、実施主体：SAURABH SAKSHI & ASSOCIATES（インド監査法人）、報告・提出月：2017年4月、結果及び対応：特段の指摘事項なし ・内部監査 対象年度：2017年10-12月、報告・提出月：2018年1月、結果及び対応：特段の指摘事項なし（本内部監査は組織マネジメントを対象に実施） ・財政状況の報告 報告・提出月：2017年4月（2016年度）（2017年度の決算報告は、2018年10月頃入手見込み） ・事務局では財政安定化のため、分担金滞納分の回収及び経費節減に継続的に取り組んでおり、日本としても総会やリエゾンオフィサー会合を通じて、かかる取組を監督するとともに、日本からも他の加盟国に対して未納分担金の支払いを呼びかけるなど、未納金の回収に向けた事務局の努力を支援してきている。 ・予算を含む財務事項は、リエゾンオフィサー会合で審議及びフォローアップを行う体制になっており、かかる枠組みを通じて、加盟国から拠出された分担金が適切に使用されていることを確認し得る体制となっている。 ・AALCO事務局が健全な組織マネジメントを行い、厳しい財政状況にかんがみて効果的・効率的な予算策定及び執行を確保することが不可欠との観点から、日本はAALCO設立以来一貫して事務次長を派遣し、組織・財政マネジメントを担当させ、加盟国による分担金滞納問題や組織改革を中心に担当させてきている。 ・また、日本は、年間通じて定期的開催されるリエゾンオフィサー会合及び年次総会での審議を通じて、予算を含む財務・運営事項に関するモニタリングや提案を行っている。その結果、2018年AALCO予算案の審議では、事務局人件費の増額要求について、日本から加盟国間の十分な審議を確保することを提案して同予算要求の承認を見送らせるなど、適切な予算審議プロセスの確保に貢献した。 						
3 日本の外 交課題遂行 における有	<ul style="list-style-type: none"> ・AALCOは、アジア・アフリカ地域の国際法に関する唯一の政府間諮問機関として国際法の分野におけるアジア・アフリカ諸国の意見を収斂し、国際社会に反映させる役割を担っており、日本の外交政策の柱の一つである国際社会における法の支配の促進に大きく貢献している。拠出金による直接の成果は、上記1のとおり。 ・日本はこれまでも、年次総会及び下部会合（リエゾンオフィサー会合、各種作業部会等）における議論への積極的参加、各種セミナーの共催、講師の派遣等を通じて日本の立場の普及に努めてきている。また、会合以外の場でも事務局との意見交換を随時行い、日本の立場が反映されるよう努めている。 						

<p>用性・重要性</p>	<p>・2016年及び2017年の年次総会では、海洋法、サイバー空間に関する国際法、暴力的過激主義とテロリズム等の審議事項を中心に、日本の立場をしかるべく表明し、アジア・アフリカ諸国の理解を得ると同時に、特に日本と異なる見解がアジア・アフリカ諸国の共通意見とならないよう、本会議及び決議起草作業部会にて日本が議論を牽引し、最終的に採択される決議に反映させた。</p> <p>・AALCOは、多様な国からの意見を反映し、国際的に関心の高い国際法の諸問題についてバランスのとれた議論を行い、国連国際法委員会等の場において議論の結果を発信してきているが、かかる取組は日本だけで実施できることではなく、AALCOがアジア・アフリカ地域を跨ぐ多国間機関であるために可能である。</p> <p>・日本は、2016年及び2017年のAALCO年次総会の機会を利用して、加盟国政府機関実務家の能力構築を目的として、日本主催のサイドイベントを主催し、加盟国関係者の実施協力及び多数のイベント参加者を得ているが、こうしたセミナー等に参加する際も、AALCOが有する各国・機関とのネットワークを通じて彼らの協力・参加を得ることにより、日本単独で実施するよりも効果的・効率的に実施することが可能である。</p>						
<p>4 日本人職員・ポストの状況等</p>	<p>加盟国等の数</p> <p>47</p>	<p>全職員数 (専門職以上。以下同じ。) (2017年12月末時点)</p> <p>10</p>	<p>うち、 日本人職員数</p> <p>1</p>	<p>うち、 日本人幹部職員数</p> <p>1</p>	<p>日本人職員の比率 (2017年12月末時点)</p> <p>10%</p>	<p>日本人職員数 (前年同時期)</p> <p>1</p>	<p>日本人幹部職員数 (前年同時期)</p> <p>1</p>
<p>その他特記事項：</p> <p>・AALCO事務局幹部職員（事務局長1名、次長全3名）において、日本は事務次長ポスト（1名）を維持している。</p> <p>・AALCO事務局は、4名の幹部職を除く職員数が約20名と小規模な上、これら職員は事務局所在地のインド・デリーでの現地採用（同国物価水準を反映した給与水準）であり、また、幹部を除く専門職員は約5-6名と更に少数であることから、日本人職員の確保は容易ではない。日本は、事務次長の派遣やAALCO委員の任命を通して、AALCOにおけるプレゼンスの確保を図っている。</p> <p>・AALCO事務局との意見交換等の機会を捉え、事務次長の派遣を通じた日本の貢献について説明し、事務局の理解を得てきている。</p>							
<p>5 PDCAサイクルの確保等</p>	<p>PLAN</p>	<p>AALCOの予算案は、事務局が作成した後、事務局のあるインドにおいて、リエゾンオフィサー会合での審議を通じて検討を行った上で、年次総会において承認される。不明朗な支出項目があれば加盟国が異議を申し立てることができる。</p>					
		<p>DO</p> <p>承認された予算は、事務局の運営のほか、年次総会、総会決議に基づいて事務局が実施する会期間会合、セミナー等の実施に使用される。</p>					
		<p>CHECK</p> <p>事務局の予算執行に関して、毎年外部監査が実施される。さらに、組織運営に関する内部監査も行われる。</p>					
		<p>ACT</p> <p>事務局の活動状況及び決算監査結果の確認は、年間通じて開催されるリエゾンオフィサー会合で審議し、対応策を検討するほか、必要に応じて開催される予算・財務に関する小委員会会合にて更に詳細な審議を行う。</p>					
<p>・日本からの分担金は、AALCOの全体予算に組み入れられるため、日本からの分担金のみを特定することはできない。したがって、上記は、AALCO全体のPDCAサイクルを記入したもの。</p>							
<p>担当課室名</p>	<p>国際法課</p>						